

SLフロー

セメント系セルフレベルング材

荷 姿



25kg紙袋

施工可能厚さ

5~20mm

練り上がり量

約15ℓ
(1㎡=67袋)

標準施工面積

10mm厚 約1.5㎡

15mm厚 約1.0㎡

20mm厚 約0.75㎡

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0408052
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

水濡れ厳禁 無石綿 業務用

特 長

- ・流動性の良い材料ですので、コテやトンボで軽く均すだけの簡単な作業で高い水平精度が得られます。
- ・高速ミキサーや圧送ポンプを用いることで広い範囲を短時間で施工でき、工期短縮や省力化が図れます。

製品仕様

適用下地	コンクリート、PCパネル
適用部位	屋内床面
適用化粧材	長尺シート、Pタイル、木質系床材などの貼り物床下地 カーペット、じゅうたんなどの敷き物床下地

上表以外の適用につきましては、お問い合わせ下さい。

試験表

下記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、実際の現場での性能を保証しているものではありません。

二瀬窯業(株) 試験室

項目 [単位]	試験結果	品質基準	
フロー値 [cm]	22.7	19以上	
凝結時間 [時一分]	始 発	7-10	0-45以上
	終 結	8-35	20-00以内
圧縮強さ [N/mm ²]	30.2	20.0以上	
下地接着強度 [N/mm ²]	1.7	0.7以上	
表面接着強度 [N/mm ²]	0.9	0.5以上	
長さ変化率 [%]	0.06	0.12以下	
衝撃	割れおよび剥がれなし	割れおよび剥がれの無いこと	

試験方法：JASS 15 M-103 (セルフレベルング材の品質基準)

関連資料

- ・SLフロー施工に最適なプライマーです。
- ・気泡抑制効果が高く表面精度が向上します。



塗布型吸水調整材(アクリル系ラテックス)

SL専用プライマー [18kg/缶]

標準施工面積 200~250㎡/缶
(4倍希釈・2回塗り)

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0406003
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

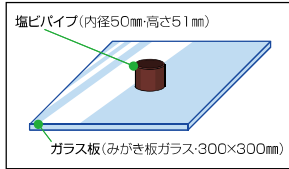


二瀬窯業株式会社

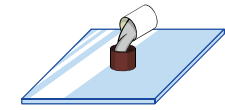
Making quality premixed mortar through research and development

＜セルフベリング材のフロー値の測定要領＞

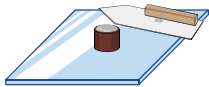
① 水平に設置したガラス板の中央に塩ビパイプを置いてください。



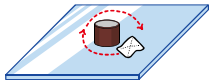
② 混練したSLフローアを容器等にとり、塩ビパイプに充填してください。



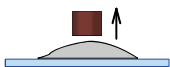
充填後ただちにコテやヘラ等を使用して表面をすり切ってください。



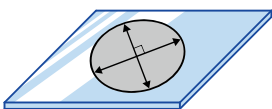
※ ガラス板にこぼれた材料はウエスで拭き取ってください。



③ 塩ビパイプを真上にゆっくりと取り去ってください。



④ 材料が静止するまで待ち、拡がった最長方向とその直角方向の長さを測定し、その平均値を求めフロー値とする。



【注意事項】

ガラスが濡れている状態では正確なフロー値が得られませんので注意してください。
ガラス板は必ず水平に設置してください。

施工方法

施工について詳しくは施工要領書をご請求ください。

(1) コンクリート打設時の処理

- ・ 下地の脆弱部分、レイトンス、油脂、汚れ等はサンダー掛けで除去してください。
- ・ 屑、粉塵は掃除機で十分に清掃してください。
- ・ 凹凸の著しい箇所は、あらかじめモルタルでつけ送りにしてください。

(2) 漏出防止措置

- ・ 僅かな隙間でも漏出するおそれがありますので、十分にチェックして隙間のある箇所はバックアップ材やモルタルでせき止めてください。

(3) 墨出し

- ・ 壁際に墨出しを行ない仕上がり位置を表示してください。
- ・ 床面に1~2m間隔でアタリを設置してください。
- ・ 面積が広い場合は、1~2m間隔でセキを設けてください。

(4) プライマー塗り

- ・ 下地が乾燥している状態で、SL専用プライマーを水道水で4倍に希釈したものを2回塗りしてください。
- ・ プライマーはハケやブラシを用いてコスリ付けるように塗布してください。
- ・ 1回目目が透明に乾燥してから2回目を塗りつけてください。
- ※ 塗布間隔の目安：夏期1~2時間、冬期3~4時間程度
- ・ 乾燥の目安時間を過ぎても低い部分に溜まってなかなか乾燥しないプライマーは、ハケでのぼして乾燥させてください。
- ・ プライマー塗布後は粉塵等が付着しやすくなりますので、できるだけ早くSLフローアの施工を行なってください。

(5) 施工箇所の保護養生

- ・ SLフローアの流し込みに入る前に、風、雨を避けるためドアや窓は全て閉じ、開口部はシート等で通風を防いでください。また、強い日差しを受ける箇所はシート等で保護し、急激な乾燥を避けてください。施工後24時間以上は閉鎖したままにしてください。

(6) SLフローアの練り混ぜ

- ・ 練り混ぜ器具は高速ミキサー(グラウトミキサー)もしくはモルタル用かくはん機(800min⁻¹以上の高速型)を用いてください。
- ・ 水道水6.0~6.5ℓを容器に入れ、SLフローア1袋(25kg)を徐々に投入しながら練り混ぜ、全量投入完了から3分間練り混ぜてください。
- ※ フロー値を測定し、220mm±10mm間に調整してください。
- ・ レイトンスや強度不足の原因になりますので水量は指定範囲内としてください。
- ・ 材料を練混ぜたら、10分以内に流し込んでください。
- ・ 水を加えての練り直しや練足しは行なわないでください。

(7) 流し込み

- ・ 練混ぜた材料は10分以内に流し込んでください。
- ・ 端部より、仕上がり墨とアタリに合わせながら流し込み、コテで均しながら流し込みを進めてください。
- ・ 打ち継ぎ部などの均し作業は、流し込み後15分以内に完了させてください。

(8) 養生

- ・ 施工終了より24時間以上は閉鎖したままにして、風や雨・直射日光を防いでください。また、振動・衝撃を受けないように注意してください。
- ・ 軽歩行は、夏期24時間以上、冬期2~3日以上で可能ですが、表面はキズつきやすいため段ボールや養生シートを敷くなど保護してください。また、建築資材等の直置きも避けてください。
- ・ 仕上げ材の施工までは夏期7日以上、冬期14日以上養生してください。
- ・ SLフローア硬化後、表面にレイトンスが出た場合や気泡が発生し表面に凸部ができた場合には、ポリッシャーなどで表面を研磨し、凹部が大きな場合はポリマーセメントモルタルで埋め平滑に仕上げてください。

注意事項

※ 本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

SLフローアの施工前には必ずカタログや施工要領書、安全データシート等をよく読んで注意点を十分に理解した後に施工を行ってください。

1. SLフローアの最適な施工厚さは5~20mmです。5mm未満ではセルフベリングできない恐れがありますのでご注意ください。また、20mmを超えると不具合を招く恐れがありますのでご注意ください。
2. 勾配を必要とする場所への施工は出来ません。
3. 気温5℃以下及び5℃以下になると予想される場合は、原則として施工を行わないでください。
4. 製品には練水の他、弊社が特に指定するもの以外は混入しないでください。
5. 固まったものの使用は避けてください。
6. 開封後の材料は、使い切ってください。
7. SLフローアの品質保持期間は、製造後約4ヶ月です。



SLフローアは安全に正しくお使いください。



ISO 14001取得企業

製品資料・SDS等は別途ご請求ください

20230118.23

プレミックスモルタルの総合開発メーカー
二瀬窯業株式会社
http://www.futaseyogyo.co.jp/

本社・工場 福岡県飯塚市横田669
〒820-0044 tel(0948)22-0447 fax(0948)29-0289

関東工場 千葉県木更津市新港15-8
〒292-0836 tel(0438)30-7372 fax(0438)30-7472

福岡営業所 福岡県飯塚市横田669
〒820-0044 tel(0948)22-0447 fax(0948)29-0289

名古屋営業所 愛知県清須市西枇杷島町弁天45 ヤマモリビル 1F
〒452-0006 tel(052)509-2485 fax(052)509-2486

東京営業所 東京都港区芝2-27-8 マスマンビル 2F
〒105-0014 tel(03)6453-6685 fax(03)6453-6686

大阪営業所 大阪府大阪市港区市岡元町2-8-18 ワールドビル 2F
〒552-0002 tel(06)6583-3310 fax(06)6583-3325